

- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
 - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
 - 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
 - 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
 - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

広報 向日市

No.502

平成3年(1991年)5月15日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

心ふれあう 魅力あるまちに



民秋市政 五期目スタート

5月1日(水)、市民や職員約300人が盛大な拍手で出迎える中、5選を果たした民秋徳夫市長が初登庁しました。

民秋市長は、「一党一派に偏せず、「福祉と教育と文化の香り高いまちづくり」をめざして全力をつくす」と決意を新たにしました。



ト



向日市長
民秋徳夫

私は、このたびの市長選挙におきまして、市民の皆様のご強いご支持を得て、五たび市政を担当させていただきますことになりました。

今後四年間、市民の皆様から寄せられた期待に応え、市長四期十六年の経験を生かし、新たな決意と情熱をもって、市長の重責を全うしてまいります。

さて、21世紀を間近に控えた今日、私達を取り巻く諸情勢は、大きな変動をきたしております。

我が国では、国際社会への貢献や、日米構造協議における大店法や市場開放の問題など大きな課題を抱えております。

一方、地方自治体におきましては、急速に進む人口の高齢化、高度情報化の流れの中で市民ニーズも多様化・高度化をきたしており、また、行財政運営も厳しいものが予想されます。

こうした状況の中、私は、市民が行政に何を期待しているかを的確には握し、ふるさとづくりを進めることの重要さとその責務を痛感しております。

そのためにも、私は選挙において掲げました「一党一派に偏しない市民本位の市政を貫き、公約いたしました施策の実現に向けて頑張つてまいります」。

特に、現在取り組んでいるまちづくりの重要施策を軌道に乗せ、または、実現を期すとともに、新しい総合計画を策定し、これに基づく施策の推進により、「福祉と教育と文化の香り高いまちづくり」をめざして、全力を傾注する所存です。

私は、ふるさと向日市を、来るべき21世紀に向けて、市民一人ひとりが「ふるさと」と呼べる「個性的で、心のふれあう魅力あるまち」に市民の皆様とともにきずいてまいりたいと存じます。

今後とも、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。